

## グレート・ブックスについて

「グレート・ブックス」という呼称は、日本ではやや馴染みが薄いですが、アメリカ合衆国においては、R．M．ハッチンス博士やM．J．アドラー博士などがGreat Books of the Western World（グレート・ブックス・オブ・ザ・ウェスタン・ワールド＝西洋世界の名著）と称する一群のテキストを選定し、一般には「グレート・ブックス」として知られている。

この「グレート・ブックス」には、プラトン、アリストテレスを始めとし、英語で読むことができ、西洋世界で基本となる古典・名著が選定されており、アメリカ合衆国における教養（リベラル・アーツ）教育のためのテキストとなっている。

本書では、西洋世界の名著に加え、日本における古典・名著、東洋思想、イスラーム思想などにも配慮して、全体を構成してある。具体的には、凡例の頁にある「1 グレート・ブックスとして取り上げた作品および人物について」を参照されたい。

### <参考文献>

松田義幸、須賀由紀子、江藤裕之共著『グレート・ブックスとの対話～「学習社会」の理想に向けて～』  
財団法人かながわ学術研究交流財団 1999 年刊